



令和4（2022）年度 第13期 とちぎの教育未来塾

第4日〔令和5（2023）年1月14日（土）〕

第13期生 97名



【選択講座B】学校・地域・家庭（保護者）に関すること

「子どもの学びを支える学校と地域の連携・協働」

栃木県総合教育センター生涯学習部社会教育主事 小柳 真一



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆ 地域と連携していくためには、人との繋がりを意識して、地域と密接に関わっていくことが重要だと学びました。地域と繋がり合うことで、児童の主体的・対話的で深い学びにも自然と結びつくことが分かりました。
- ◆ 学校と地域が連携、協働する大切さに改めて気が付きました。より良い学校教育の実践、さらにその先にある持続可能な地域社会に繋がることを今回の講義を通して学びました。児童生徒の学習のためということ以外にも、地域の方々が、自分の地域の将来を担う子ども達に関われる機会でもあり、双方向的に働きかける場を設けることの意義を理解できたと感じました。

【学生等】

- ◆ 地域との連携を図ることで、子どもや学校、保護者にとってだけでなく、地域にとってもプラスになることが多くあると分かりました。また、様々な人と関わりをもつことで、子どもの社会性を育むことができると感じました。
- ◆ 学校と地域の連携を通して、児童生徒の教育の幅を広げることができるということを学ぶとともに、そうした連携を行うためには、教師が地域のことについてアンテナを張り、連携・協働した活動を行えるようにしなければならぬと思いました。

【選択講座B】教育相談に関すること「子どもとのかかわり」

栃木県総合教育センター教育相談部指導主事 澁谷 景子



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆子どもと信頼関係を築くためには、よくみて、よくきき、わかってもらうことが大切だと分かりました。演習を通して、きくときの態度（カウンセリングマインド）の重要性を実感しました。明日から、学校で子どもと関わるときに、きく態度を意識していきたいと思いました。
- ◆生徒理解を深めるためには「みる」、「きく」ということにより意識的に行う必要があることが分かりました。特に、聞く姿勢は話をする側にとって重要な要素になっているので面談などで意識したいと感じました。また、質問の方法についても、相手の考えを知るためには質問を簡潔明瞭にすることが効果的だと学びました。

【学生等】

- ◆人によってももの見え方や考え方が異なるということを強く感じました。演習では言葉で説明しても伝わっているようで伝わっていない部分があることがよくわかりました。子どもたちとの関わり方として「よくみて、よくきき、わかってもらうことが関わり方の第一歩」という言葉をきき、子どもたちと関わる上で、先入観からの思い込みに気を付けつつ、一人一人の子どもと真剣に向き合っていきたいと思いました。

【選択講座B】 幼少期の学びに関すること「学びの基礎を培う幼児教育」

栃木県総合教育センター幼児教育部指導主事 富川 千明



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆幼児期から高等学校まで学びはつながっていることを再確認できました。幼児期の教育がいかに大切かを知り、そこでの学びを小学校での教育につなげていくのが私たちの役目だと思いました。私は現在1年生を担当しており、今日の学びをさっそく明日から実践していきたいと思います。

【学生等】

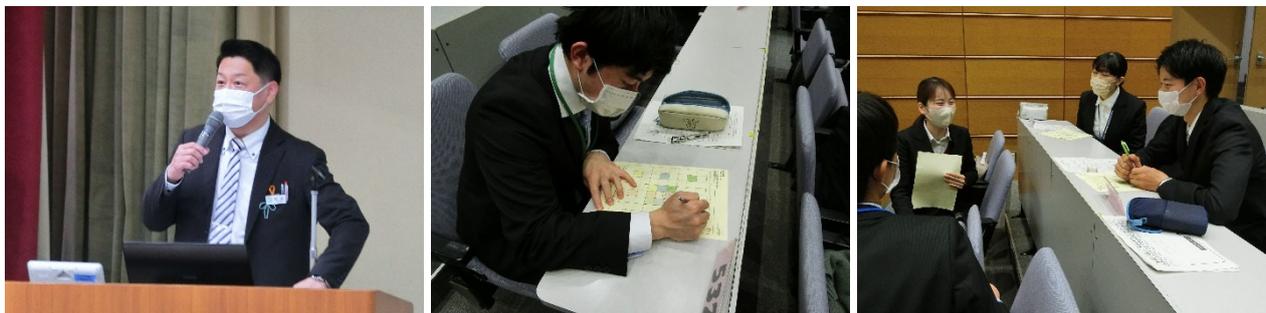
- ◆幼児期の学びは、子どもの生涯をつくりあげる大切なものであることを学びました。子どもは遊びを通して様々なことを学び、成長に繋げていることから、教育者は意図をもって遊びを構成していく必要があると感じました。
- ◆今まで、小中高特に関しては、大学で沢山学んできたので想像もでき知識もありましたが、幼児教育についてはしっかりと学んだことがなかったため、新しく得ることのできた知識がたくさんあり、勉強になりました。

講話・演習

「教師を描こう」

栃木県総合教育センター研修部指導主事 福田 俊彦

第13期「とちぎの教育未来塾」4日間の学びを振り返りながら、「目指す教師像」の実現に向けてマンダラチャートを作成しました。



受講後の振り返りから

【現職】

- ◆マンダラチャートにより自分に必要なこと大切にしていることが分かりました。忙しく日々を過ごしているとなりたい教師や大切にしている価値観を忘れがちですが、定期的に教師について考えていきたいと思いました。また、ビデオメッセージでの子どもからの感謝の言葉を見て改めて教師という職は素敵だなと感じました。
- ◆目標達成シート（マンダラチャート）を実際に行ってみて、同じ言葉が様々な分野に入ると実感しました。先生からの講義で、同じ言葉が入ることは自身が大切にしていることだとお話をいただき、安心しました。いつも見えるところに置き、今後も前向きに頑張りたいと思います。

【学生等】

- ◆「こんな教師でありたい」という姿と、そのために必要なことが自分の中で明確になりました。自分の教育観をしっかりともち、目指す教師像の実現に向けてやるべきことを継続し、子どもたちと日々成長していきたいと思いました。
- ◆目指したい教師像から、今自分に必要な要素を書き出す活動で、私が教師を目指す上で足りない部分を見つめ直すことができました。大学ではここで明確になった要素についての知識をしっかりと学習していきたいです。また、現職の先生の教師をやって良かったと思うエピソードを聞き、教師という職業の魅力を強く感じました。私も紹介されていた先生方のように、児童生徒をしっかりと支えていけるような教師になりたいと思います。

閉講式

第13期「とちぎの教育未来塾」が閉講式をもって修了しました。今年度も現職の教員と学生との交流を通して、学び多い4日間になりました。

受講者代表あいさつ

閉講あいさつ



